

実 技 試 験

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、2021年4月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例等については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 税理士資格を有していないFPが、無料相談会において、相談者の持参した資料に基づき、相談者が納付すべき所得税額を計算した。
2. 投資助言・代理業、投資運用業の登録をしていないFPが、顧客が保有する投資信託の運用報告書に基づき、その記載内容について説明した。
3. 生命保険募集人、生命保険仲立人の登録をしていないFPが、生命保険契約を検討している顧客のライフプランに基づき、必要保障額を具体的に試算した。

問2

下記は、落合家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値として、最も不適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果については万円未満を四捨五入すること。

＜落合家のキャッシュフロー表＞

（単位：万円）

経過年数			基準年	1年	2年	3年	4年
西暦（年）			2021	2022	2023	2024	2025
家族・ 年齢	落合 耕太郎	本人	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳
	美奈代	妻	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳
	奈々	長女	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳
ライフイベント		変動率		奈々 小学校入学		自動車の 買換え	
収入	給与収入（夫）	2%	592				（ア）
	給与収入（妻）	—	0	50	100	100	100
	収入合計	—	592	654			
支出	基本生活費	2%	242				
	住宅関連費	—	167	167	167	167	167
	教育費	—	50	60	40	40	70
	保険料	—	40	40	40	45	45
	一時的支出	—				300	
	その他支出	—	20	20	20	20	20
	支出合計	—		534			
年間収支				（イ）	197	▲101	
金融資産残高		1%	687	814	（ウ）		

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとし、2021年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

1. 空欄（ア）： 641
2. 空欄（イ）： 120
3. 空欄（ウ）： 1,021

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

下記＜資料＞に基づくR V株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。
なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととし、計算結果については表示単位の小数点以下第3位を四捨五入すること。

＜資料：R V株式会社に関するデータ＞

株価	2,000円
1株当たり純利益（今期予想）	300円
1株当たり純資産	2,200円
1株当たり年間配当金（今期予想）	30円

1. 株価純資産倍率（PBR）は、1.1倍である。
2. 配当利回りは、1.36%である。
3. 配当性向は、10%である。

問4

下記は、一般的な公募株式投資信託（非上場）と証券取引所に上場しているETF（上場投資信託）およびJ-REIT（上場不動産投資信託）の特徴についてまとめた表である。下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

	一般的な公募株式投資信託（非上場）	ETF （上場投資信託）	J-REIT （上場不動産投資信託）
取引・購入窓口	各投資信託を取り扱う証券会社や銀行などの販売会社	証券会社等	（ア）
取引価格	（イ）	市場での取引価格	市場での取引価格
購入時の手数料	投資信託によって、販売会社ごとに異なる手数料率を適用	（ウ）	（ウ）

1. 空欄（ア）に入る語句は、「不動産取引業者」である。
2. 空欄（イ）に入る語句は、「基準価額」である。
3. 空欄（ウ）に入る語句は、「証券取引所が定めた手数料率を一律に適用」である。

問5

金投資に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、金の取引は継続的な売買でないものとする。

1. 個人が金地金を売却した場合の所得については、所得税の計算上、雑所得として課税対象となる。
2. 金地金の売買において、海外の金価格（米ドル建て）が一定の場合、円高（米ドル／円相場）は国内金価格の下落要因となる。
3. 金地金は、一般的に国際情勢の変化等に対して強いと考えられている資産である。

【第3問】下記の（問6）、（問7）について解答しなさい。

問6

建物の登記記録に関する下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる記録事項の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜建物登記記録の構成＞

建物登記記録	表題部	（ア）	
	権利部	甲区	（イ）
		乙区	（ウ）

1. （ア）所有権保存登記 （イ）所有権移転登記 （ウ）抵当権設定登記
2. （ア）建物の所在や構造 （イ）所有権保存登記 （ウ）所有権移転登記
3. （ア）建物の所在や構造 （イ）所有権移転登記 （ウ）抵当権設定登記

問7

下記は、宅地建物の売買・交換において、宅地建物取引業者と交わす媒介契約の種類とその概要についてまとめた表である。下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句または数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、自己発見取引とは、自ら発見した相手方と売買または交換の契約を締結する行為を指すものとする。

	一般媒介契約	専任媒介契約	専属専任媒介契約
複数業者への重複依頼	可	不可	不可
自己発見取引	可	（ア）	不可
依頼者への業務状況報告義務	なし	（イ）に1回以上	1週間に1回以上
指定流通機構への登録義務	なし	媒介契約締結日の翌日から7営業日以内	媒介契約締結日の翌日から（ウ）営業日以内

1. （ア）可 （イ）2週間 （ウ）5
2. （ア）可 （イ）1ヵ月 （ウ）7
3. （ア）不可 （イ）1ヵ月 （ウ）5

【第4問】下記の（問8）～（問10）について解答しなさい。

問8

加瀬義明さんが加入している医療保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとする。また、義明さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類 医療保険（無配当）		保険証券記号番号 △△△-××××	
保険契約者	加瀬 義明 様	ご印鑑 ○加瀬	◆契約日 2014年3月1日 ◆主契約の保険期間 終身 ◆主契約の保険料払込期間 終身
被保険者	加瀬 義明 様 契約年齢 34歳 男性		
受取人	〔給付金受取人〕被保険者 様 〔死亡保険金受取人〕加瀬 真奈美 様 *保険契約者との続柄：妻		
■ご契約内容			
給付金・保険金の内容	給付金額・保険金額		保険期間
入院給付金	日額 5,000円 *病気やケガで2日以上継続入院のとき、入院開始日を含めて1日目から支払います。 *同一事由の1回の入院給付金支払い限度は60日、通算して1,000日となります。		終身
手術給付金	給付金額 入院給付金日額×10・20・40倍 *所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて、手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。		
死亡・高度障害保険金	保険金 1,000,000円 *死亡または所定の高度障害状態となった場合に支払います。		
■保険料の内容		■その他付加されている特約・特則等	
払込保険料合計 ×,×××円/月 払込方法（回数）：年12回 払込期月 : 毎月		保険料口座振替特約 *以下余白	

加瀬義明さんが、2021年中に交通事故で大ケガを負い、給付倍率20倍の手術（1回）を受け、継続して63日間入院した場合に支払われる保険金は、合計（ア）である。

1. 300,000円
2. 400,000円
3. 415,000円

問9

F Pの駒田さんは相談者の香川さんから地震保険に関する質問を受けた。地震保険に関する駒田さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「地震保険は、住宅総合保険や火災保険などとセットで契約するため、単独での契約はできません。」
2. 「地震保険の保険料は保険会社ごとに異なるので、数社から見積りを取った方が良いでしょう。」
3. 「噴火により、居住用の建物が全損となった場合、地震保険の補償の対象となります。」

問10

損害保険の用語に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 保険金とは、保険事故により損害が生じたとき、保険会社が被保険者または保険金受取人に支払う金銭のことである。
2. 超過保険とは、保険金額が保険の対象の価額（保険価額）を超えている保険のことである。
3. 再調達価額とは、保険の対象と同等のものを新たに建築または購入するのに必要な金額から、使用による消耗分を差し引いた金額のことである。

【第5問】下記の（問11）、（問12）について解答しなさい。

問11

会社員の浅見守さんが2021年中に支払った医療費等が下記<資料>のとおりである場合、守さんの2021年分の所得税の確定申告における医療費控除の金額として、正しいものはどれか。なお、守さんの2021年分の所得は給与所得700万円のみであり、支払った医療費等はすべて守さんおよび生計を一にする妻のために支払ったものである。また、医療費控除の金額が最も大きくなるよう計算することとし、「特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例」は考慮しないこととする。

<資料>

支払年月	医療等を受けた人	内容	支払金額
2021年1月	守さん	人間ドック代（※）	50,000円
2021年2月～3月	守さん	入院費用（※）	220,000円
2021年8月	妻	健康増進のためのビタミン剤の購入代	30,000円
2021年9月	妻	風邪のため市販の風邪薬の購入代	3,000円

（※）人間ドックの結果、重大な疾病が発見され同年2月より治療のため入院した。この入院により医療保険による給付金を8万円受給している。

1. 93,000円
2. 173,000円
3. 193,000円

問 1 2

下記<資料>の3人の会社員のうち、2021年分の所得税において確定申告を行う必要がない者は誰か。なお、<資料>に記載のあるデータに基づいて解答することとし、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料：3人の収入等に関するデータ（2021年12月31日時点）>

氏名	年齢	給与収入（年収）	勤務先	備考
飯田大介	35歳	500万円	SA食品会社	<ul style="list-style-type: none">勤務先の給与収入以外に一時所得の金額が10万円ある。勤務先で年末調整を受けている。
山根正樹	40歳	800万円	SB銀行	<ul style="list-style-type: none">収入は勤務先の給与収入のみである。勤務先で年末調整を受けている。2021年中に住宅を取得し、同年分から住宅借入金等特別控除の適用を受けたい。
伊丹正志	52歳	2,300万円	SC商事	<ul style="list-style-type: none">収入は勤務先の給与収入のみである。

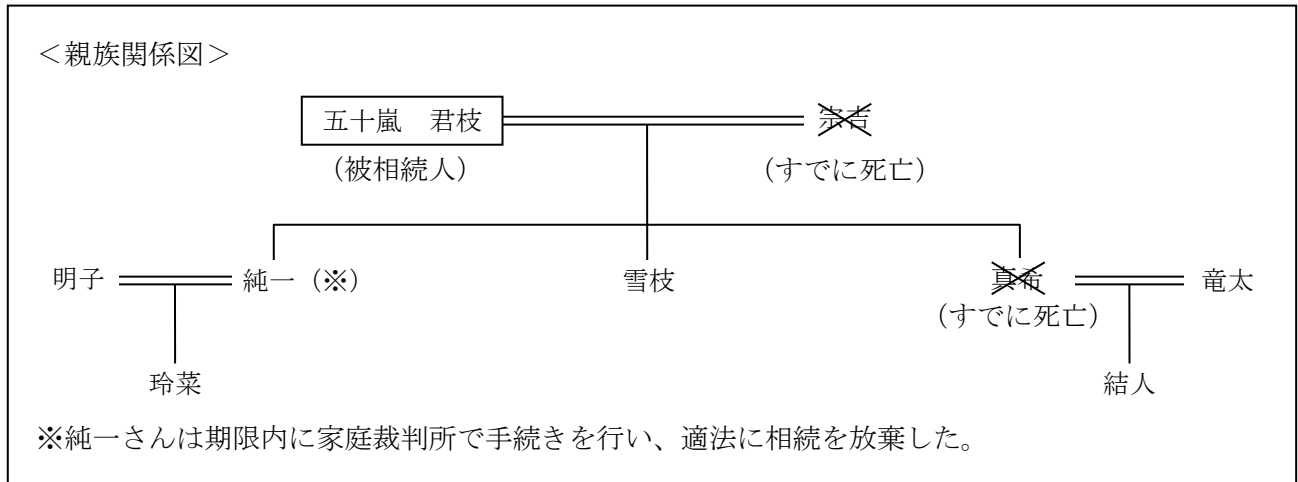
※給与収入（年収）は2021年分の金額である。

1. 飯田大介
2. 山根正樹
3. 伊丹正志

【第6問】下記の（問13）～（問15）について解答しなさい。

問13

2021年9月1日に相続が開始された五十嵐君枝さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. 雪枝 1／1
2. 雪枝 1／2 結人 1／2
3. 雪枝 1／3 玲菜 1／3 結人 1／3

問 14

村瀬高志さん（30歳）が2021年中に贈与を受けた財産の価額と贈与者は以下のとおりである。高志さんの2021年分の贈与税額として、正しいものはどれか。なお、2021年中において、高志さんはこれ以外の財産の贈与を受けておらず、相続時精算課税制度は選択していないものとする。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 高志さんの母からの贈与 現金550万円 ・ 高志さんの祖父からの贈与 現金50万円 <p>※上記の贈与は、住宅取得等資金や教育資金、結婚・子育てに係る資金の贈与ではない。</p>
--

<贈与税の速算表>

(イ) 20歳以上の者が直系尊属から贈与を受けた財産の場合（特例贈与財産、特例税率）

基礎控除後の課税価格	税率	控除額
200万円 以下	10%	—
200万円 超 400万円 以下	15%	10万円
400万円 超 600万円 以下	20%	30万円
600万円 超 1,000万円 以下	30%	90万円
1,000万円 超 1,500万円 以下	40%	190万円
1,500万円 超 3,000万円 以下	45%	265万円
3,000万円 超 4,500万円 以下	50%	415万円
4,500万円 超	55%	640万円

(ロ) 上記(イ)以外の場合（一般贈与財産、一般税率）

基礎控除後の課税価格	税率	控除額
200万円 以下	10%	—
200万円 超 300万円 以下	15%	10万円
300万円 超 400万円 以下	20%	25万円
400万円 超 600万円 以下	30%	65万円
600万円 超 1,000万円 以下	40%	125万円
1,000万円 超 1,500万円 以下	45%	175万円
1,500万円 超 3,000万円 以下	50%	250万円
3,000万円 超	55%	400万円

1. 68万円
2. 82万円
3. 90万円

問 15

近藤裕太さんは、同居している母の芳子さんについて将来発生するであろう相続に当たって、裕太さんと芳子さんが住む住宅の土地に係る小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例の適用について、FPで税理士でもある木内さんに相談をした。この相談に対する木内さんの回答の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、芳子さんは当該住宅の土地以外に不動産は所有していないものとする。

[木内さんの回答]

「相続開始の直前において、被相続人の居住の用に供されていた宅地等は、所定の要件を満たせば、小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例の適用を受けることができます。その宅地等が特定居住用宅地等に該当する場合、（ア） m^2 を限度として、相続税評価額を（イ）％減額できます。」

1. (ア) 330 (イ) 50
2. (ア) 330 (イ) 80
3. (ア) 400 (イ) 80

【第7問】下記の（問16）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

柴田大地さんは株式会社KEに勤める会社員である。大地さんは今後の生活設計について、FPで税理士でもある唐沢さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも2021年9月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
柴田 大地	本人	1968年10月10日	52歳	会社員
智子	妻	1968年 8月18日	53歳	専業主婦
誠	長男	2001年 3月 7日	20歳	大学生

[保有財産（時価）]

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	600
定期預金	2,000
財形年金貯蓄	300
上場株式	450
生命保険（解約返戻金相当額）	250
不動産（自宅マンション）	3,300

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：320万円（債務者は大地さん、団体信用生命保険付き）

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないものとする。

問 16

F P の唐沢さんは、柴田家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとする。

＜柴田家のバランスシート＞

（単位：万円）

[資産]	×××	[負債]	×××
		負債合計	×××
		[純資産]	（ア）
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 3,280（万円）
2. 6,330（万円）
3. 6,580（万円）

問 17

大地さんは、今後10年間で積立貯蓄をして、老後の資金として350万円を準備したいと考えている。積立期間中に年利2.0%で複利運用できるものとした場合、350万円を準備するために必要な毎年の積立金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては、千円未満を切り上げる。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利2.0%）＞

	現価係数	資本回収係数	減債基金係数
10年	0.82035	0.11133	0.09133

*記載されている数値は正しいものとする。

1. 288,000円
2. 320,000円
3. 390,000円

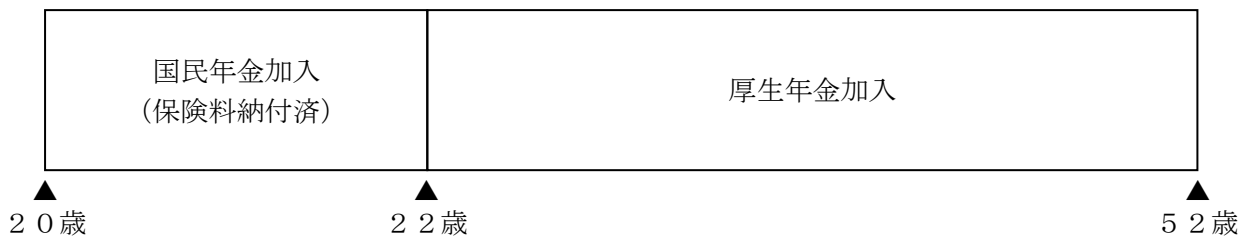
問 18

大地さんは、老後に備え財形年金貯蓄制度を利用している。そこで財形年金貯蓄制度について理解を深めておこうと思い、FPの唐沢さんに質問をした。財形年金貯蓄制度に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 貯蓄型の財形年金貯蓄（銀行、証券会社などの財形年金貯蓄）は、財形住宅貯蓄と合わせて元本 550万円までの利子等が非課税となる。
2. 財形年金貯蓄制度は金融機関を通じて1人2契約まで契約することが可能である。
3. 財形年金貯蓄制度の積立期間は5年以上必要である。

問 19

大地さんの年金加入歴は下記のとおりである。仮に、大地さんが現時点（52歳）で死亡した場合、大地さんの死亡時点において妻の智子さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、大地さんは、入社時（22歳）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。



1. 死亡一時金と遺族厚生年金が支給される。
2. 遺族厚生年金が支給され、中高齢寡婦加算額が加算される。
3. 遺族基礎年金と遺族厚生年金が支給される。

問20

大地さんは、今後高齢の親の介護が必要になった場合を考え、公的介護保険制度について、FPの唐沢さんに質問をした。唐沢さんが行った介護保険に関する次の説明の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値または語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

「介護保険では、（ア）歳以上の者を第1号被保険者、40歳以上（ア）歳未満の者を第2号被保険者としています。第1号被保険者の介護保険料は、公的年金の受給額が年額（イ）万円以上の場合にはその年金から天引きされます。

介護保険の給付を受けるためには、（ウ）の認定を受ける必要があり、認定審査の判定結果は、『要介護1～5』『要支援1・2』『非該当』と区分されます。要介護と認定されると居宅サービス、施設サービスのどちらも利用できます。」

1. （ア）60 （イ）12 （ウ）市町村または特別区
2. （ア）65 （イ）12 （ウ）都道府県
3. （ア）65 （イ）18 （ウ）市町村または特別区